



遠藤 貴人 議員

## 定住策

# 購入可能な宅地整備の計画は

## 村長 小規模分散型住宅地

### 質問

村営住宅は世帯の収入によって家賃が変動する仕組みにあるため、所得が増加してくると、中年世代になると、多額の住居費を支払うこととなる。村営住宅に住み続けるか、持ち家にするかの選択に迫られ、後者を選択した場合、実家に十分な土地を持ち合わせていない家族は、新築のための土地を買い求める必要がある。近隣町村にはお金を払えば堂々と買える分譲地が多数存在する。これだけの土地を持ち合わせている村内に借りられる宅地が存在しても、買える宅地が存在しない。この現状が、近隣町村へ流れ出る一つの要因では。

### 答弁(村長)

宅地に適した土地は農地にも適していると

ここであり、所有者から買えないのが現状。小規模分散型条件付き住宅地といったアイデ

アは面白い。各大字で一箇所ずつ、そういった宅地ができれば、「子育て支援」「地域の振



穏やかに暮らせる住宅地の整備

興」に繋がると考える。村有地の有効活用とあわせながら、「ニーズに合った分譲地の整備、住宅施策に取り組む。

### 再質問

定住促進住宅、村営住宅、ともに老朽化が著しい物件も存在する。今後、どのように対応するのか。

### 答弁(村長)

公営住宅を建てる場合に借地はせず、基本的には村有地に建てる。候補地に挙がっているのは前田団地。定住促進住宅は西山に2棟4世帯、富田の反田地区も同様に検討している。

### 再質問

浅川、棚倉に出掛けるのが容易な事から、見渡団地の入居希望が多い。浅川の境でも、

棚倉の境でも本村は本村。中心地に宅地造成するばかりでなく「塚本」や「馬場」など、万人向けではないが、一部のニーズに当てはまる宅地造成も必要では。

### 答弁(村長)

西野の工場跡地を利用し、分譲販売することも検討している。と同時に、準備万端で待つのではなく、村民から希望があつた場合に、宅地を探すことの支援も本村では惜しまない。



前田 武久 議員

# 水利施設、頭首工の管理支援と調査検討をすべき

## 農業施設

**村長** 管理は受益者に依頼し、災害時の破損は村が実施する

### 質問

農業水利施設である頭首工の管理支援と調査検討、施設整備の計画、土地改良区の存続運営方針について伺う。

### 答弁(村長)

施設の維持管理は受益者にお願います。施設が被災した場合に、災害復旧事業で対応する。堰の把握状況は平成22年度に実施し、7箇所破損を確認したが、その後は実

施していない。住民、受益者が要望する事業は、従来どおり村が責任を持って実施する。

### 再質問

村内の取水堰は16箇所ある。公有化が難しくとも、補助制度を活用し施設維持を図るべき。

### 答弁(村長)

村内に堰が16箇所存在することは勉強不足であった。早速、職員と相談し検討したい。



湯の田取水堰(頭首工)の現況

**問** 阿武隈南部地区農用地開発公団事業、参加者からの償還状況は

**答** 償還を繰り上げるように働きかけている

### 質問

この事業の参加者は、償還期限の平成11年に1件を除き50数億円を完済している。また国への借入金償還のために未納額を村が立て替えた。

議会は平成15年に特別委員会を設置し、30数回の審議を経て村への善処を求め返済計画書が作成された。その計画書で「余裕が出た場合に返済計画を見直し、早期に完済努力する」とある。その後の経営状況の把握と指導督促について伺う。

また平成6年に2570万円で国から買収した村有牧野の利用状況と今後の活用を伺う。

### 答弁(村長)

償還できなかった農事組合法人が、村への

償還金を未だに返済中である。現在の納付残額は1969万8137円であり、年額50万の支払いとなっている。

2年前から子牛の販売価格の高騰により、経営が好転しているために、繰り上げの支払いを働きかけている。村有放牧地17haは農事組合法人青生野肥育組合に貸付していたが、原発事故後に放牧中止申し出により、契約更新を行っていない。

### 再質問

組合の経営指導と経営内容は。

### 答弁(村長)

年に数回程度訪問し、子牛の販売価格の高騰の件についても話している。現在20頭規模の経営規模である。

### 再質問

村有牧野は除染補償期間内に改良すれば、用途が開けると思うが。

### 答弁(村長)

除染すると下流に迷惑がかかるので苦慮している。メガソーラーが導入されれば参加したい。

### 再質問

メガソーラーの設置は送電線の経費がかさみ、費用対効果がないと思われる。十分検討されてのことか。

### 答弁(村長)

土地を貸すだけであり、設置業者の話がまとまったなら相談をしたい。

# 公共工事の工程管理を徹底せよ！

## 配水池工事の遅延問題に議会が要望



議長から村長に提出された要望書

鍬木田配水池工事は平成27年度末に完成の予定でしたが、翌年度へ繰り越し、議会はそれを承認しました。しかし、その後の議案調査や全員協議会にて工程管理の改善策を協議した結果、遅延の原因が明確になったことから、再発防止に向けて要望書を提出する事とし、それを村長が受理しました。

### 要 望 書

平成27年度に着手した簡易水道再編推進事業 鍬木田配水池整備工事は、平成28年9月定例会にて、村配布の決算資料に記された工事の繰越内容から疑義が生じ、議案調査にて工事遅延の原因と工事費の財源内訳を調査することとしました。

その後1月17日に開催した全員協議会における村長の質疑応答を始め、担当課職員に対する聴取や、議会独自協議のための全員協議会を行うなど、5回の調査にあたりました。

工事の問題点は、請負業者が工事契約の遵守という意識が希薄であり、契約工期内に工事完成に努めるという当然の努力義務を怠ったところにあります。村側は契約工期内竣工に向けての工程管理の徹底が図れないところがありました。

第4次鮫川村振興計画に謳われる「生活基盤が整ったふるさと鮫川」の実現に向けた、補助事業を最大限に活用したインフラ整備を進めるうえでの再発防止について、次のとおり要望します。

#### 記

1. 工事請負契約の厳守と工程管理の徹底を図るため、契約を誠実に履行しない請負業者を対象に、ペナルティ基準を明確にした要綱要領の制定を要望します。
2. 請負業者に対する客観的かつ偏りのない工程管理指導を平準化するため、村発注工事の監督業務において、把握すべき点検事項を定める点検フロー、チェックリスト等を作成し、発注者の意識の共有化を図られるよう要望します。
3. 契約工期内に竣工しようとする努力義務を怠り、村に対して多大な損害を与えた施工業者に対して、本工事に係る損害賠償を請求するよう要望します。
4. 担当課管理職及び担当係に技術職員が不在であった人事を鑑み、専門職の採用配置を要望します。

平成29年3月1日

鮫川村長 大 樂 勝 弘 様

鮫川村議会議長 星 一 彌

# へ の 提言 続出

## 人口減少策はありますか？

鮫川村こども模擬議会は今年で4回目を迎えた。鮫川小6年生、青生野小6年・5年の各議員が村への提言など、堂々と一般質問し、大楽村長と奥貫教育長が答弁をしました。



緊張高まるこども模擬議会議場

# 美しく残そう!!

### 人口減少対策



湯坐 美紅 議員

#### 質問

鮫川村の人口が年々減っていくようなので、寂しいふるさとなつてしまわないよう、対策をとられているか教えてください。

#### 答弁 村長

大切なのは、人口が少なくなつても、村に活力があるようにしていくことです。人口が減つても、皆さんが勉強や体験をして、素晴らしい大人になつていただくことで、元気な活力のある村になるよう、皆さんと一緒に知恵を出し合っていきます。

#### 再質問 中川西峻来議員

魅力ある村づくりの一つとして、子供からお年寄りまで利用でき

る総合的なスポーツ施設をつくってはいかがですか。

#### 答弁 教育長

総合的なスポーツ施設は、村としても計画すべき時期に来ています。しかし、多額の費用が必要となります。鮫川村では、高齢の方、青年世代、少年世代のスポーツに対応できる施設を考えていかなければなりません。

#### 再質問 関根 輝議員

魅力ある村づくりの行事として、駅伝大会があります。子供からお年寄りまでが楽しめる大会をほかにも企画してはいかでしょうか。

#### 答弁 教育長

子供からお年寄りまで、みんなが楽しめる大会などは必要です。現状では、お年寄りの活動と皆さんのような若い世代が交流する大会はありませので、活動の幅を広げ、

幅広い世代が交流できるような機会を設けていきたいと考えています。

### 自然環境保護



岡田 十妃杏 議員

#### 質問

私たちは、鶴山、鹿角平、強滝など、村内の自然に触れる機会が多くあります。いつまでもこの豊かな自然を守るために、村で何か対策を考えていますか。

#### 答弁 村長

いつまでも豊かな自然を守るために、森林活用や農地の維持管理ができるよう森林再生を推進する事業を行っています。また間伐材を「さざり荘」のボイラー燃料として利用しています。

#### 再質問 阿久津恵実議員

間伐などの木材を利用して、遊具やアスレチック

# 魅力ある村づくり



議会を進行する藤元華議長(左)、藤田大翔副議長(右)



# 未来の村を

クがあつたら楽しいと思います。

**答弁** 教育長

間伐材を捨てず、それを遊具にすれば、その大切さを遊具として利用する子供たちに伝える機会になります。今後、遊具を新しく設置する機会に提案を参考にします。

## ゴミの処理



岡部 陽斗 議員

**質問**

ゴミの日、小屋いっぱいにゴミが積まれています。たくさんのごみが捨てられていて、鮫川村の自然が心配です。

**答弁** 村長

鮫川村の環境を守るため、年に3回、4月、7月、9月に、地域ごとの村内清掃や村内を巡回して不法投棄物の回収を行っています。ごみのない美しい

い鮫川村を維持していきます。

**再質問** 山形 美鈴 議員

生活していく中で、困ったことがあったときに、どこへ問い合わせればよいのか分かりません。村ではどのようなお知らせをしているのでしょうか。

**答弁** 村長

問い合わせ先のお知らせとして、毎年「広報さめがわ」5月号に、役場の組織と担当している仕事を掲載しています。また、村のホームページやふるさとの四季カレンダーにも、各課の仕事を紹介し、掲載しています。

## 生活環境整備



坂本 智哉 議員

**質問**

西山の岩野草地区は、特に道が狭いので、安全

に通行ができるよう、街灯やカーブミラーを設置してほしいです。

**答弁** 村長

カーブミラーの施設については、損壊や異常がないよう点検をしておりますが、要望等により連絡をいただいた箇所については、新たに設置をしたり、速やかに修理を行っております。

**再質問** 蛭田 南央斗 議員

バスにシートベルトをつけてもらいたいです。シートベルトがないと、急ブレーキをしたときに危険です。

**答弁** 教育長

鮫川村のスクールバス全てにシートベルトがついています。現在のスクールバス制度では、シートベルト着用は義務化されていません。しかし、急ブレーキをすることもありますから、今後はシートベルトをつけるようにしてください。

再質問 坂本 大夢議員

前田団地には防火設備がないので、初期消火や延焼を防ぐため消火設備が欲しいです。

答弁 村長

前田団地は、すぐ下側に川が流れています。この水を使って消防車が水をかけることができますので、防火水槽も設置しております。

### 交流人口増加



塩田 美里 議員

質問

他の地域から若い人たちが鮫川村に来るようにどんな取り組みをしますか。

答弁 村長

村では、移住希望者向けに空き家を紹介する空

き家情報バンク制度を実施しています。また、緑のふるさと協力隊や地域おこし協力隊という制度を活用し、ほかの町から若者が鮫川村に移住する取り組みも行っています。

再質問 田子 陸斗議員

館山公園の桜をライトアップするなどして、観光スポットにしてはどうでしょうか。

答弁 村長

暗闇に照らされた桜は魅力があり、すばらしいアイデアです。木が大きくなつて、花がたくさん咲くようになったら、ライトアップもしたいと考えています。

再質問 鈴木 結議員

若者が集まりそうな施設を増やせば、村に人が集まるのではないのでしょうか。

答弁 村長

若い人が集まるお店をつくるにも、運営していく

にも、お金がかかります。今の村の状況では大変です。都会にはない。鮫川村だからある。そんな魅力を皆さんが発見し、磨きをかけていくことを学んでいただきたいと思います。

にも、お金がかかります。今の村の状況では大変です。都会にはない。鮫川村だからある。そんな魅力を皆さんが発見し、磨きをかけていくことを学んでいただきたいと思います。

### 読書環境や映画鑑賞



金澤 佑典 議員

質問

村の図書館にもっと本を増やして欲しいです。学校にいて図書館にどんな本があるのかわかるシステムもあるのか、もっと利用しやすくなると思います。

答弁 教育長

図書館の職員、学校の先生に、こんな本が欲しいと伝えていただければ、本を購入する貴重な情報と

なります。村の図書館が導入している読書システムは、インターネット回線がないことから、図書館と学校をつなぐシステムは難しいかもしれません。

なります。村の図書館が導入している読書システムは、インターネット回線がないことから、図書館と学校をつなぐシステムは難しいかもしれません。

再質問 芳賀 美咲議員

少し古い映画でもいいので、公民館やトレセンで上映会してもらえないでしょうか。映画館が遠くて出かけられないお年寄りにも喜ばれると思います。

答弁 教育長

以前は、鮫川村でも映画鑑賞会を開催していました。しかし年々、お客さんの数が少なくなり、開催を取りやめた経緯があります。皆さんから要望があり、費用に見合った観客数を見込めれば、実施してもよいと考えています。

### 有害鳥獣対策



宗田 怜也 議員

質問

最近、イノシシなどの動物が増えて、畑の野菜が被害に遭ったと聞きます。農業は大切な産業だと思いますが、村では何か対策をとっていますか。

答弁 村長

農地全体を囲む電気柵をつくる費用の2分の1を助成しています。また、生息数を減らすことを目的として、捕獲したイノシシ1頭につき2万円の助成も行っています。

再質問 鈴木 爽太議員

村内には休耕田がたくさんありますが、何か対策を考えていますか。

答弁 村長

休耕田を解消するため、村では飼料米の作付を推進し、収入が確保できるよう進めています。さらに、今後は遊休農地を活用し、学校給食に利用できる野菜の栽培組織を設立し、安全安心な農作物を供給できる体制を整備したいと考えております。

### 村の予算



小松 新菜 議員

質問

12月の租税教室で、学校教育にたくさん税金が使われていることを学習しました。どのように予算を決めているのでしょうか。

答弁 村長

予算作成は、村民からの要望などを考慮しながら、職員から提出された事業について予算見積書が作成されます。皆さんの声をいかに村政、財政に反映するか検討を加えて、最終的には村の議会の審議を得て、村の予算を決定します。

## 故郷を愛する心が深まった子どもたち

「鮫川村を住みやすい村にするための意見や、村の行政について質問したいこと・要望を挙げてください。」と投げかけたところ、6年生の子どもたちからは普段の生活の中で感じていることや、子どもの目線から考えた意見がたくさん出されました。どれも真剣に考えた内容で、「そんなことを考えていたのか」と子どもたちの成長を頼もしく感じました。

模擬議会では子どもたち一人ひとりを議員として迎えてくださり、本番さながらの会議の進め方を体験させていただきました。村長さんも教育長さんも、子どもたちの質問に対して、具体的な例や数値を示し、丁寧に答弁してくださいました。みんな感激して

ました。また、子どもたちは村の行政について現状を知ることができたようで、故郷を愛する心がさらに深まったのではないかと感じました。

社会科の授業で、民主主義や地方自治についての基本的な学習をしてきましたが、今回の体験を通して、自分たちの住む鮫川村でも教科書と同様に選挙で議員が選ばれ、村民の願いを叶えるために真剣に議論を交わしているのだというのを身近に感じることができたようです。子どもたちが18歳を迎えた時に、参政権について主体的に考えられるようになっていたら嬉しいです。このような素晴らしい機会をいただき、ありがとうございます。



鮫川小学校  
教務主任  
松本 由子 先生

# 大きく育て村の子ども達!

## 経験を活かし村をよく変えて欲しい



青生野小学校  
5・6年担任  
佐藤 綾 先生

子ども模擬議会に参加して、鮫川村の未来について子どもたちと一緒に考えることができました。

青生野小学校で質問内容を考える際、「鮫川村の自然をいつまでも守っていききたい」「最近、ゴミ置き場にたくさんゴミが捨てられているけど、このままゴミが増え続けたら自然を維持することはできるのかな」「わたしの家のゴミ置き場が壊れているけど、どこに問い合わせれば直してもらえるのかな」など、普段の生活の中で疑問に思っていること、鮫川村を少しでも良くしていきたいと願っていることが込められた子どもたちの目線に、なるほどと納得させられる考えばかりでした。また、議会当日は、真剣に鮫川村の未来につ

いて考え、意見を述べる青生野小学校、鮫川小学校の子どもたちの姿に感心しました。議会に参加したことで、鮫川村の未来について考えるよい機会となったことはもちろんですが、自分の意見を主張することの大切さなど、これから社会の一員として生きていく中で大切なことを学ぶことができました。子どもたちには、よりよい村をつくっていくのは自分たちであるという意識をもって、今、自分にできることを実践してほしいです。

10年後、20年後、立派な大人になったときに、今回の議会での経験を活かし、鮫川村をよりよく変えていく存在の一人になることを期待しています。

## 第2期 議会モニターに委嘱状交付



委嘱状を受ける議会モニター員

# 住民の声を 議会に活かさせ

青年と女性の  
ご意見に期待！



森 隆之さん  
(東野・樫久保)



松本 弘子さん  
(富田・楸木田)



清水 恵子さん  
(東野・葉貫)



須藤 重晴さん  
(東野・遠ヶ菟)

村議会は村民の皆様からのご意見や提言などを議会運営に反映させ、「村民から信頼される議会」を目的として「議会モニター制」を導入しています。昨年引き続き、2期生のモニターを公募したところ、5名の村民の方より応募があり、委嘱状が交付されました。

### 議会モニター

- 目的** 各モニター様からのご意見や提言を議会運営に反映させ、議会の活性化を図る。
- 委嘱期間** 1年間（平成30年1月15日まで）
- 委嘱内容** 定例議会傍聴、感想や提言の提供、議員との懇談会への出席、議会だよりへの感想他



生田目 宏好さん  
(中野・新宿)

# 村民の広場

## 私の夢シリーズ⑧

岡部 <sup>そうま</sup> 颯馬くん(鮫川中3年)

がんばれ!!  
村の担い手

### 目標はバレーボール県大会出場!



- 大字中野大塩、岡部満さん、亜紀さんの長男
- 鮫川中男子バレーボールチームでセッターとして活躍中

私が今、一生懸命取り組んでいる事は部活です。私がやっている部活はバレーボールです。なぜ部活でバレーボールを選んだかと言うと、小学1年生の時から、バレーボールをやっていたからです。その頃はあまり真剣に取り組むという気持ちがなく、バレーボールが楽しいという感情がありませんでした。でも、小学4年生のころになると、ボールをつなぐことが楽しくなり、サーブで点を取るうれしさを知りました。その後はバレーボールは楽しいこと、おもしろいことがたくさんあるということがわかり、バレーボールが好きになりました。バレーボールは仲間の大切さが良くわかるスポーツなので、興味のある人は、ぜひやってください。

今、私が目指している事は、県大会出場です。そのためには、自分を含めてチームのだめな所や苦手な事を一つ一つなくしていくのが大事だとおもっています。他に、日々の練習でお互いに注意し合うことが必要だと感じました。自分の目指している所まで行けるように3年生として後輩をしっかりひっぱり、セッターとしてアタッカーが気持ちよく打てるトスをいつでも上げられるよう、しっかりと練習をして行きたいです。

### 3月定例議会傍聴者アンケートより 私たちの感想と意見です!!

#### 議員の発言内容は 良く分かりましたか

- ・ 具体的に発言する方もいて分かり易いが、軌道を離れる質問もあった。
- ・ 議員の方々が日々村民の暮らしに目を向け、問題視し発言、問題解決に向けている事を知った。
- ・ 少子高齢化・村外流出が強く感じる。この問題に関心の多い質問をされた議員多く力強い。
- ・ 若者の意見でよかった。鮫川に若者が住みやすい方法はないかと一生懸命な質問に共感した。
- ・ 村の地名の話題について行けない部分があった。
- ・ 質問に理解できない部分があった。一方、質の高い事項も見受けられた。
- ・ 村が抱えている難題の解決の糸口を探っている専門用語が多くよく分からなかった。

#### 答弁者(村長・教育長)の 発言はわかりましたか

- ・ 拡大解釈もあった。熱弁もあり話がうまい。
  - ・ 質問者と答弁者の話がマッチしていない。
  - ・ 村長としての意気込みが伝わった。ぶれることなく信念を貫いてほしい。
  - ・ 地名がでてくるとイメージしにくい。
  - ・ 傍聴者にも分かる様にしていった。私達に知らない施策を知ることができた。
- #### その他の感想を お聞かせください
- ・ 情報の発信にはプライバシーもあるので慎重に。
  - ・ 一般質問をしない議員がいるが、村への要望はないのか。
  - ・ 質疑は時間を区切ったほうがいい。
  - ・ 教育関係の質問が少ない。傍聴者が多くなることを願う。
  - ・ 答弁がほぼ村長である事は気になった。

# 病気にさせない予防医学をめざす

15歳の高校入学と同時に、鯨川の親元を離れて郡山市で下宿生活を始めました。その後も時々実家に帰省することはありましたが、あの時が鯨川で暮らした最後であったと感慨深いものがあります。「三つ子の魂百まで」と申しますが、これまでもこれから自分の「ふるさと」は変わらないものですし、様々な判断や物

## ふるさと鯨川への想い シリーズ②④



そま た のぞむ  
**杉田 望**さん  
(大字富田字彦次郎出身)  
埼玉県さいたま市在住

### ◆プロフィール

【生年月日】昭和55年6月10日  
平成11年 日本大学東北高校卒業  
平成17年 産業医科大学卒業  
平成17年 福島労災病院 消化器内科  
平成20年 みやぎ生活協同組合  
専属産業医  
平成22年 (株)アドバンテスト 専属産業医  
(平成22～27年 福島労災病院消化器内科非常勤医師)  
平成27年 曙ブレーキ工業株式会社  
統括産業医  
(現在に至る)

【家 族】妻、長男(6歳)  
【趣 味】釣り、旅行

事の考え方に影響を受けていると思っています。

小学校は富田小学校に通学していました。同級生は6人と少人数でしたが、先生や地域の方々にとても良くして頂いた思い出があります。鯨川の自然から学んだことも多くありました。特に、5歳ごろから父について覚えた溪流釣りはこれまでの人生を豊かなものにしてくれました。現在は数年前から覚え始めた船釣り(主に東京湾や外房)にはまっています。ストレスの多い現代社会では、趣味を持つことがとても大切だと思っていますし、仕事と生活バランスをとるのに役立っています。

仕事のほうは、消化器内科で研修を積んだ後、企業内で社員の安全と健康を守る産業医という仕事をしています。現在は自動車などのブレーキを作る会社で、国内外約9000名の健康管理を統括する産業医をしています。産業医は「病気を治す」のではなく、「病気を

にさせない」という予防医学と呼ばれる分野の仕事です。治る病気も多くなってきましたが、そうでない病気も多くあります。「病気にさせない」というのが最も大切なことだと思っています。そのためにも、社員の仕事内容や生活など含めた多面的な指導が必要です。この仕事の中でも鯨川での様々な経験が活かされています。

実家を豊んでしまい、鯨川に行く機会も減ってしまいました。これからは私なりにふるさと鯨川に貢献できることがないか模索しつつ、皆様の健康をお祈りし、筆を置きたいと思います。



親子で釣りを楽しむ筆者

### 議会だよりが 全国入賞に輝く

第31回町村議会広報全国コンクールに「みんなのさめがわ議会だより」を初めて応募したところ、全国から291紙の応募のなかで、企画・構成部門で奨励賞に輝きました。県内では本議会のみの受賞です。今後とも身を引き締め、市民の皆様に読んでいただける議会だより編集に努めます。



町村議長会長より受賞伝達を受ける星議長

### 編集後記

小学・中学・高校、全ての卒業式で、それぞれ心惹かれる特徴や雰囲気がありました。人生は出逢いと選択を繰り返します。皆さんの前に、輝かしい未来が開けますよう。そして、この鯨川の地で培った教養の力が、ますます混迷の度を深めつつあるこの世界に、やがて新しい叡智の光をもたらしますよう。万感の思いを込めて申し上げます。  
「卒業おめでとう」  
(編集委員)